

橘小5年生が

田植えに挑戦

「田んぼの学校」

武雄市

武雄市  
橘小



整然と並んで丁寧に苗を植える橘小5年生ら＝武雄市橘町

(大曲尚美校長)の5年生が6月28日、「田んぼの学校」の一環で田植えに挑戦した。収穫したもち米の一部は

東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市の二つの小学校に送る。

橘小は2001年から、橘町まちづくり協議会、育友会、農協など各種団体の支援を受け、

「田んぼの学校」に取り組んでいる。学校近くに借りた田んぼ(13㏎)でのコメ作りや生き物調べを通じ、農業や自然との共生を学んでいる。

育苗箱にヒヨクモチの種もみをまくところから始め、この日の田植えには児童20人と地域の大人約30人が参加。18センチほどに成長した苗を4、5本ずつ手にとり、丁寧に植えていった。8月に田んぼの生き物調査、10月末に稲刈りをし、収穫祭や研究発表会も開催する。

山下真央さん(10)は「田植えは初めてで、きれいに並べるのが難しかった。東北の人に届けて、喜んでもらえるのが楽しみ」と話していた。